

新型コロナウイルス感染症による緊急調査（集計結果）

7月31日、沖縄県緊急事態宣言が発出され、新型コロナウイルス感染症の警戒レベルが第3段階になったことをうけ、組合員施設への影響調査を実施いたします。県や議会へ宿泊業の実情を理解してもらうには根拠となるデータが必要です。度重なる調査でご面倒をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

令和2年8月 沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合

調査対象：292軒 うち回答：48軒（回答率16.4%）

■7月31日沖縄県緊急事態宣言発出後のキャンセル状況

項目		8月	9月	10月～12月	令和3年1月以降
個人	延べ人数	19,963名	4,354名	2,590名	405名
	延べ泊数	9,361泊	2,436泊	1,519泊	302泊
	キャンセル総額	210,576千円	44,905千円	25,038千円	3,814千円
団体	件数	9件	5件	13件	1件
	延べ人数	175名	162名	381名	28名
	延べ泊数	14泊	6泊	19泊	1泊
	キャンセル総額	567千円	867千円	3,769千円	270千円
修学旅行	件数	2件	15件	21件	1件
	延べ人数	116名	1,986名	2,926名	36名
	延べ泊数	3泊	48泊	327泊	1泊
	キャンセル総額	867千円	16,496千円	30,616千円	390千円
コメント欄		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度分は全てキャンセル ・団体は、緊急事態宣言前からキャンセルが多い。 ・近況事態宣言を受け、8月の予約は落としているが、9月以降の動きはない。 ・団体も含めてもっと増えると思います。緊急事態宣言の発表はやるべきではなかった。このままでは観光業は危ない。 ・「緊急事態宣言」という表現により、通常のキャンセルポリシーに沿ったキャンセル料も取れなくなった。 ・10月以降の県内修学旅行、開催検討中の学校4件あり、キャンセルの恐れ大。 ・7月に県内のお客様予約が入りだしたのですが、緊急事態宣言発令後ほとんどキャンセルされました。 ・8/15以降、今のところキャンセルは少ないが状況によってかなりキャンセルも出る。 ・沖縄県独自の緊急事態宣言発令後、キャンセルが増えました。例年通りの8月お盆休みではなくなってきました。 ・10月以降は大きな動き特になし。 			